

松平家史料展示室 企画展

福井藩の幕末維新～海防～

●主催 福井市立郷土歴史博物館

●会場 松平家史料展示室

●会期 令和2年5月20日(水)

～7月14日(火)

日本全国が大きく揺れ動いた幕末維新、福井藩は優秀な人材を輩出し、国政に大きな発言力を持つ「雄藩」^{ゆうはん}として高く評価されてきました。しかし、なぜ福井藩がこの激動の時代に大きな役割を果たすことができたのか、その背景についてはあまり知られていないのではないのでしょうか。

今回は、海からの外敵を防ぐ「海防」という政策に注目します。西洋諸国の進出を水際で防ぐため、全国各地で砲台の設置や農兵の配備を中心とした海岸防備体制の整備が進められました。福井藩では、藩主松平春嶽^{しゅんがく}（慶永）の決定により、西洋軍事技術の導入が図られました。新技術によって整備された軍事力を背景に、福井藩は幕末の政局で積極的な運動を展開していくことになるのです。

第1章 「内憂外患」の時代と松平春嶽

19世紀になると、東アジアでは西洋諸国の進出が加速し、日本近海にもさまざまな国籍の船が来航するようになります。こうした事態を目の当たりにした徳川御三家の水戸藩主徳川斉昭^{なりあき}は、西洋諸国の接近が日本国内の動揺を引き起こすであろうという危機感を12代將軍徳川家慶宛の建白書「戊戌封事」で「内憂外患」と書き著しました。福井藩主となった松平春嶽は斉昭に藩主としての心構えを質問し、回答を得るなど大きな影響を受けており、初入国の直後には海防体制視察のため自ら領内を巡視するなど、積極的な取り組みを見せています。

【図1】松平春嶽肖像写真（直衣・青年期、当館蔵）



第2章 福井藩と「黒船来航」

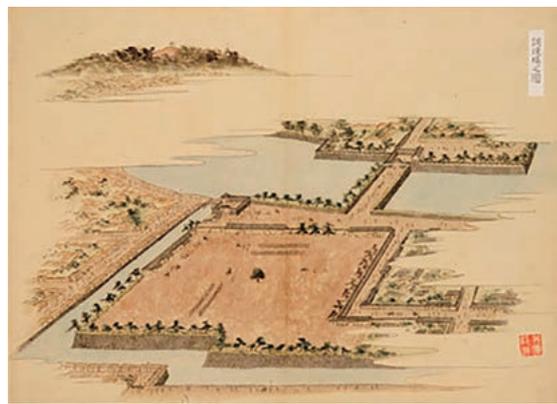
嘉永6年（1853）、ペリー率いるアメリカ海軍東インド艦隊が浦賀沖に来航し、幕府にアメリカとの国交樹立を要求しました。江戸湾内を自在に運航する蒸気船と巨大な大砲の姿は、江戸の士民を大きく動揺させることになります。この時、福井藩は品川御殿山^{ごてんやま}（現、東京都品川区北品川）の警備を任されています。春嶽は藩兵の出動を命じて艦隊の動向を監視するとともに、同じく沿岸の警備を命じられた他藩との連携を図るなど、事態の収拾に努めました。その詳細は、春嶽自らがまとめた「合同舶入相秘記」（No.10）によって知ることができます。



【図2】三浦半島相模湾岸警備図（福井市春嶽公記念文庫）

第3章 福井藩の軍制改革

ペリーの軍事力を背景とした外交交渉によって締結された日米和親条約は、日本国内に大きな議論を巻き起こしました。福井藩は弘化4年(1847)より西洋軍事技術の導入が進められていましたが、ペリー来航を機にさらなる改革が進められました。安政期には、西洋式の部隊訓練導入や、銃器製造工場である「製造局」の建設、三国(坂井市)での洋式帆船一番丸の建造などの成果をみえています。なお、この時期、春嶽は京都の警衛を幕府に建言し、その一翼を福井藩が担うことを申し出ています。そうした政治的な主張の背景には、軍制改革を中心とした藩軍事力の充実があったのです。



【図3】堂形訓練場の図
(越葵文庫、当館保管)

展示目録

No.	資料名	員数	年代	所蔵
第1章 「内憂外患」の時代と松平春嶽				
1	魯西亜船渡航記録	1冊	江戸時代後期	福井市春嶽公記念文庫
2	徳川斉昭「戊戌封事」(写)	1冊	天保9(1838)年8月序	福井市春嶽公記念文庫
3	松平春嶽宛徳川斉昭書翰(九ヶ條回答書)	1巻	天保14(1843)年5月18日	福井市春嶽公記念文庫
4-1	越前四郡支配分海岸絵図(福井城から三国湊・吉崎まで)	1面	嘉永元年(1847) ※近代写	福井市春嶽公記念文庫
4-2	越前四郡支配分海岸絵図(福井城から三国湊・南菅生浦まで)	1面	嘉永元年(1847) ※近代写	福井市春嶽公記念文庫
4-3	越前四郡支配分海岸絵図(海岸防御等一番手小屋割)	1面	嘉永元年(1847) ※近代写	福井市春嶽公記念文庫
5	海浜巡視水陸路程図	2面	嘉永3(1850)年9月21~23日	当館蔵
第2章 福井藩と「黒船来航」				
6-1	ペリー来航関係史料(三浦半島相模湾岸警備図)	2面	江戸時代末期	福井市春嶽公記念文庫
6-2	ペリー来航関係史料(アダムズ参謀長父子の肖像画)	1枚	江戸時代末期	福井市春嶽公記念文庫
7	神州泰平 武守固鑑	1幅	嘉永7年(1854)	当館蔵
8	嘉永改正 泰平安民鑑	1幅	嘉永7年(1854)	当館蔵
9	書状(「異国奉公人請状之事」)	1通	嘉永7年(1854)	当館蔵
10	(ペリー来航時における福井藩の陣容)	1冊	嘉永6(1853)年6月	当館蔵
11	合同舶入相秘記	6冊	嘉永7(1854)年1~2月	福井市春嶽公記念文庫
12	江戸湾遠見番所之図	1面	江戸時代末期	福井市春嶽公記念文庫
13	浦賀港異国船渡来記	1冊	嘉永6年(1853)	福井市春嶽公記念文庫
第3章 福井藩の軍制改革				
14	笠原白翁意見書	1冊	嘉永7(1854)年9月	当館蔵
15	松平春嶽嘆願	1冊	(安政元年)12月	福井市春嶽公記念文庫
16	中根雪江意見書草稿	1巻	(安政3年)	福井市春嶽公記念文庫
17-1	江川英敏他筆砲術免許書	1通	(安政4年)8月10日	当館蔵
17-2	江川英敏他筆砲術皆伝書	1通	安政5(1858)年4月	当館蔵
18	西洋砲図品	1冊	安政4(1857)年10月	当館蔵
19	洋外礮具全図	2冊	嘉永7(1854)年8月2日	当館蔵
20	福井温故帖(堂形訓練場の図)	1帖	明治17年(1884)	越葵文庫
21-1	越藩築港届書	1通	安政4(1857)年5月4日	福井市春嶽公記念文庫
21-2	安藤クラ大概之図	1面	安政4(1857)年5月4日	福井市春嶽公記念文庫
22	福井藩の大砲(写真パネル)	1点	近代	原本:越葵文庫

※福井市春嶽公記念文庫は当館蔵、越葵文庫は当館保管の資料です。

次回の展示

松平家史料展示室

夏季特別陳列①「東京1964こぼれ話」

令和2年7月18日(土)~8月30日(日)

松平家史料展示室 展示解説シート No.131
令和2年5月20日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 山田 裕輝
印刷 宮本印刷